

2023年12月18日

リバーフィールド株式会社
国立大学法人 東京医科歯科大学

「触覚」を有する手術支援ロボットシステム 「Saroa サージカルシステム」を用いた 婦人科領域での初症例に成功

リバーフィールド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：只野耕太郎）と東京医科歯科大学病院（病院長：藤井靖久）は、「触覚」を有する手術支援ロボットシステム「Saroa サージカルシステム」（以下「Saroa」）を用いた婦人科領域での初症例を、東京医科歯科大学病院で2023年10月20日に実施し、患者さんも無事に退院されたことをお知らせいたします。

東京医科歯科大学病院では、2023年7月に「Saroa」を用いた消化器外科領域での初症例成功に続き、2領域での成功となります。

「Saroa」による婦人科領域での初症例（ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術及び両側付属器摘出術）は、東京医科歯科大学病院 周産・女性診療科 吉木尚之准教授の執刀により実施されました。

執刀した吉木尚之准教授は、「既存の手術支援ロボットが4本のアームを有しているのに対して、「Saroa」のアームは3本のため、補助ポートを含めて4ポートで手術を実施し、安全で低侵襲のロボット支援下手術が実現できました。婦人科領域の手術に国産の新たな手術支援ロボットが使用できるようになり、選択肢が増えました」と述べました。

近年、外科手術において、術後の回復が早い、傷口が小さいなどの利点から、低侵襲の内視鏡外科手術における手術支援ロボットでの治療が増加の一途をたどっています。手術支援ロボットは、手振れ防止機能や手術で使用する術具（鉗子）に関節があることで精密に操作を行うことができ、外科手術における手術支援ロボットでの治療が今後さらに普及すると予想されています。

「Saroa」は、独自の空気圧精密制御技術を生かし、手術に使用する鉗子にかかる力を検出し、執刀医に触覚（力覚）をフィードバックする機能を搭載しています。従来にはなかった触覚（力覚）を有することにより、自分の手で直接手術しているような感覚が得られ、手術の精度がより高くなると期待されています。

2023年7月の保険適用以降、「Saroa」による手術は、消化器外科領域、胸部外科領域、泌尿器科領域において実施され、いずれも無事に成功いたしました。今回の婦人科領域での初症例成功によって、より多くの患者さんの治療に貢献できるよう、品質・安全性・有効性の確立に努めてまいります。



「Saroa サージカルシステム」外観

【製品に関するお問い合わせ先】

リバーフィールド株式会社 営業・マーケティング部

TEL : 03-6822-9700

e-mail : product@riverfieldinc2.com

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

リバーフィールド株式会社 広報担当

TEL : 03-6822-9700

e-mail : interview_req@riverfieldinc2.com

東京医科歯科大学 総務部総務秘書課広報係

TEL : 03-5803-5833 FAX : 03-5803-0272

e-mail : kouhou.adm@tmd.ac.jp